



インドネシア日本国交樹立 60周年記念コンサート 出演者について



レゾナンス チルドレン コーラス

The Resonanz Children's Choir

レゾナンス チルドレン コーラス (略称TRCC) は2007年にアフィップ・プリアトナ氏によって設立された少年合唱団であり、バタビア マドリガル シンガーズやジャカルタ コンサート オーケストラをも運営するレゾナンス ミュージック スタジオの一部でもあります。

メンバーの音楽的才能を磨く以外にも、歌うことへの情熱、自信、集中力、マナー等を学び、また、創造性を磨くために設立されました。

TRCCはバリ、香港、ハンガリー、アメリカ、イタリア等で行われた様々な国際合唱団コンクールで多くの成績を残し、No.1としての名声を得ています。

クアルガ パドゥアン アングルン SMA 3 バンドゥン

Angklung Ensemble of SMA 3 High School of Bandung

バンドゥン第三高校アングルングループ (クアルガ パドゥアン アングルン SMA 3 バンドゥン) 略称KPA3は伝統楽器を用いたモダンポップパフォーマンスの先駆者であり、インドネシアの伝統音楽の中では革新的なものです。

このKPA3は西部ジャワ州バンドゥン第三高校に始まり、1980年4月25日のアジアアフリカ会議25周年に参加し、華を添えました。

また、インドネシア屈指のアングルンオーケストラのひとつとして、数々の成績を残し、それはゆるぎないものになっています。その活動では、ポーランド、チェコ、オーストリアやスロバキアでの国際的な数々の賞を受賞しています。

このKPA3はアングルンの伝統的良さを維持することと、国家間交流として、インドネシアとしての国際的貢献のひとつになるよう尽力しています。



アングルン

Angklung

アングルンは竹の枠に2~4本の竹筒を籐で結んで作られたインドネシア発祥の楽器です。アングルンの演奏方法は、揺らして音を出すもので、ひとつのアングルンにひとつの音階しかありません。

スダ王国時代 (インドネシア成立以前) アングルンは数ある儀式において重要な楽器であり、特にスダ人の慣習において特に豊穡の神デウィスリを祀る田植えの儀式においては重要な役割をはたしました。

1938年、ダエン スティグナという西部ジャワ州の一人の教師が、アングルンでハーモニーを奏でられるよう、また近代楽器としてその音階をまとめあげました。さらにオーケストラという形で、2012年11月[18日にはUNESCOにより、無形文化遺産として認められました。

